

珠洲 子どもの遊び場 完成イメージ

子どもたちが天候に関係なく
思いっきり遊べる屋内交流広
場を整備する。

遊びの空間には、乳幼児・幼
児が遊ぶ「里海ゾーン」、児
童が遊ぶ「里山ゾーン」を配
置する。

里山ゾーンにある高さ7.4m
の木製タワーを活かした遊び
ができる。

里海ゾーンのネット遊具は空
間を有効に活用するととも
に、遊び場全体の動線を結
び、ダイナミックに移動でき
ることにより、飽きることな
く遊ぶことができる。



里海ゾーン=乳幼児・幼児 (1~5歳)

里山ゾーン=児童 (6~12歳)

※東側から見たイメージ



里海ゾーン (西側から見たイメージ)



里山ゾーン (西側から見たイメージ)

珠洲 子どもの遊び場 配置計画案

【敷地全体の配置】

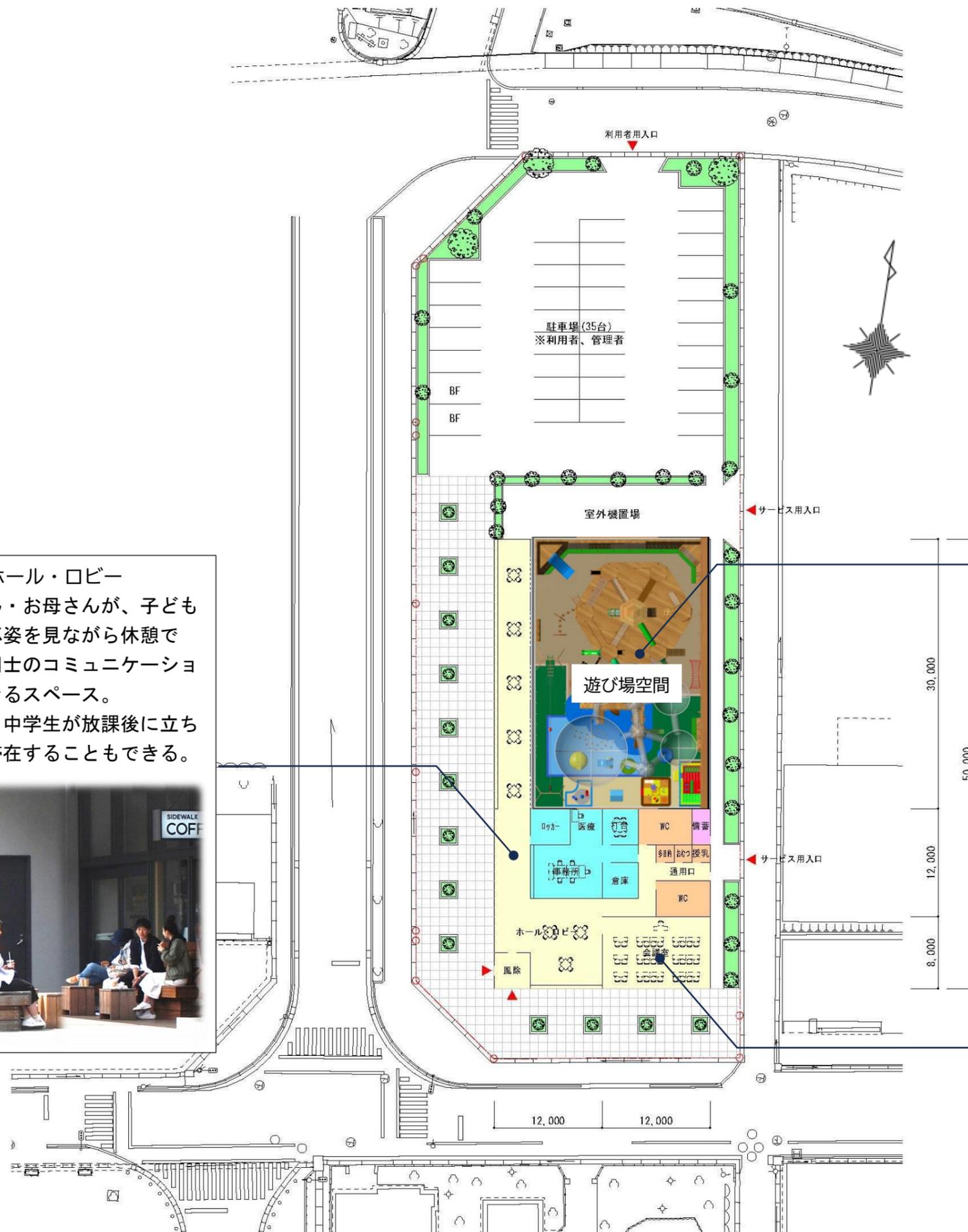
- ・敷地南側に建物を配置。
- ・北側に駐車場を配置し、出入りは北側から行う計画。
- ・西側および南側には歩行者用の屋外空間をゆったりと確保し、病院から続く並木道が敷地内へと延びていく計画。
- ・西側と南側に屋外空間を配置することで、街に対して開かれた印象を高める。

【施設内の配置】

- ・遊び場は約 600 m² (20m×30m) を確保。
- ・ホール・ロビーは、遊び場前と会議室前にそれぞれ配置し、用途に応じて使いやすい構成とする。
- ・セミナーや会議などに利用できる会議室を設け、多様な活動に対応。

ホール・ロビー

- ・お父さん・お母さんが、子ども達の遊ぶ姿を見ながら休憩でき、親同士のコミュニケーションもできるスペース。
- ・高校生、中学生が放課後に立ち寄り、滞在することもできる。



遊び場空間

- ・他の屋内交流広場にはない魅力を備えた遊び場を目指す。



会議室

- ・高校生、中学生が放課後に立ち寄り、各種活動ができる。
- ・子育てセミナーやワークショップなどの会議の開催も可能。

